

# Documentary Linguistics Workshop (DocLing) 2009

## 公開講演のお知らせ

### 「言語ドキュメンテーションにおけるアーカイビング」

講師：David Nathan 氏（ロンドン大学 SOAS）

東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所言語ダイナミクス科学研究プロジェクト(LingDy)は、ロンドン大学 SOAS の Peter Austin 氏, David Nathan 氏を講師に迎え、危機に瀕した言語の記録と保存(ドキュメンテーション)の方法論を学ぶ 1 週間のワークショップ(Documentary Linguistics Workshop, DocLing)を開催し、初日の基調講演を一般公開いたします。

日本国内では学ぶ機会の少ない言語ドキュメンテーションに関する方法論について、当該分野の専門研究者から直接お話をうかがえる絶好の機会です。今回の講演は、特にアーカイビング(言語データの永続的な利用を目的とした保存)に焦点をあてたものになる予定です。講演の使用言語は英語(通訳なし)になります。

当日は講演のあと懇親会(会費 1,000 円)を予定していますので、DocLing 講師陣との交流はもちろん、関心と同じくする講演会参加者との交流の場としてもご利用いただけます。

■ 日時：2009 年 2 月 9 日(月) 講演：午後 3 時 30 分～5 時 <懇親会：午後 6 時～>

■ 場所：【講演会場】 東京外国語大学 アジア・アフリカ言語文化研究所 3 階 大会議室  
【懇親会会場】 東京外国語大学 学生会館 2 階 特別食堂

#### 《お申込み方法》

お名前・ご所属・メールアドレス・懇親会への参加希望の有無を明記の上、e-mail ([DocLing2009@aacore.net](mailto:DocLing2009@aacore.net) 宛)にてお申込みください。追って参加確定のメールを返信いたします。

※お申込み締切日：1 月 28 日(水)

#### DocLing 2009 講師のプロフィール



**David Nathan** (デビッド・ネイザン)

Director, Endangered Languages Archive, SOAS  
MA (University of Sussex)

長らく危機言語の記述・記録・教育のためのアプリケーションソフト開発を手掛け、2004 年から現職。オーストラリア原住民諸語の高校生向けのマルチメディア教材の開発など、危機言語の実用・復興のための活動を精力的に行っている。



**Peter Austin** (ピーター・オースティン)

Märit Rausing Chair in Field Linguistics, Director  
Endangered Languages Academic Programme  
PhD (Australian National University)

オーストラリア原住民諸語の記述研究(Diyari 語など)で広く知られ、最近ではインドネシアのスンバワ系諸語(オーストロネシア語族)の記述研究も行っている。2002 年以降、SOAS を拠点に言語ドキュメンテーションの方法論の確立を目指した研究・教育活動を熱心に行っている。



主催／お問合せ先 DocLing 事務局 [DocLing2009@aacore.net](mailto:DocLing2009@aacore.net)